

共育だより

— 園と家庭双方で、お子様の“自分で”を支えましょう —

令和4年(2022)5月31日 No.2 第一幼稚園・クロワッサン保育園

3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークが終わり、園内にはまた、子ども達の賑やかな声が響いています。9日(月)からは通常降園(14時降園)となり、本格的な園生活も始まりました。休日が続いたことで、朝、保護者の方と離れる際、寂しくなるお友だちも見受けられますが、先生やクラスのお友だちと顔を合わせると、表情が和らぎ自然な笑顔が見られます。新入児さんは、少しずつできることが増え、それが自信となって様々なことに自分で取り組もうという気持ちが高まってきたようです。今後も子ども達が“やってみよう”と一歩踏み出し、周囲の人に見守られながら“ひとりりでできた!”を実感できるよう、保護者の皆様と一緒に環境の工夫(※)を共有していきたいと思っています。

急激な気温の上昇による熱中症や、梅雨期の室内遊びが続くこと等による健康管理が難しい時季となります。お子様の変化にいち早く気づけるよう、園と家庭とでお子様に目を掛け、声を掛けてまいりましょう。

子ども達の“自分で”を支える方法を共に考えましょう

去る5月19日(木)、令和元年度第1回総会を最後に対面での開催を見合わせていた「保護者会総会」が、「男女共同参画センターはあもにい」で行われました。(HPも参照ください)感染症対策を徹底して開催された総会は、議事の審議の後、ご参加の皆様が互いに意見を交換する時間も設けられており、約1時間で終了しました。

その際、園から子ども達の“自分で”を支えるひとつの方法として、日々の手洗い・うがいで使用するコップを袋から出し入れする方法について、具体的にご説明(※)をしました。その後、コップ入れの袋を手直ししてくださったご家庭もあり、それがスムーズな手洗い・うがいに繋がり、本人の“やればできる”を後押ししてくれています。このほかにも上靴を自分の手で履きやすいよう、踵に紐をつけてくださっているご家庭もあります。子ども達の“やってみよう”という気持ちが萎まぬように、上記以外でも園生活に関わるもの・こと(カバンのチャックの開閉・食具の取り扱い・水筒の扱い方、着替え等)について、お子様と一緒にご家庭で再確認をしていただければと思います。



※紐の長さを調整するとすんなり口が開くようになり、コップが取り出しやすくなります。



※コップかけから紐を外し、絞ってある口の部分に指を入れて取り出しています。



保護者会
総会の
様子



【マスク着用について】

園では熱中症対策として、屋外や運動等状況に応じてマスクの着脱を行っています。マスクの記名にご協力ください。

【お父様を対象とした夏休み親子講座について】

就学を控えた年長組とのお父様を対象とする「親子活動」を令和4年8月7日(日)に園内で計画しています。詳細は、後日改めてご案内いたします。夏休みの一日を親子で楽しく過ごしていただければ幸いです。ぜひ、ご参加ください。

＜編集後記＞ 今年度は、with コロナの暮らしとして感染症対策を徹底しながら、できる限り保護者の皆様にお子様の活動を生でご覧いただく機会を設けることができるようになっていきます。(現状、同居家族お一人の参観です)2年間開催できなかった「ひまわりくらぶ」や「共育講座」も徐々に再開(再開予定)しています。保護者の皆様と直接お会いして、子育ての話がたくさんできることを楽しみにしています。HP等でご案内いたします。お気軽にご参加ください。[子育て支援:北村]